

研修会報告

令和7年2月15日

文責：佐藤 龍之介

研修会テーマ 「苦手意識をなくそう！心電図の基本」

開催日時 令和7年2月11日 14:00~16:00

会場 Zoom ウェビナーによる Web 研修会

司会 伊藤 光汰

生涯教育点数 専門教科 20 点

参加者 会員参加者 87 名 非会員 1 名 学生 1 名

合計 89 名

講演1 「症例検討」

症例提示：東北大学病院 生理検査センター 松本 彩那 技師
東北医科薬科大学病院 検査部 稲田 菜乃 技師
大崎市民病院 臨床検査部 佐藤 龍之介 技師
石巻赤十字病院 生理検査課 村松 優果 技師

講演2 「ペースメーカー苦手克服への第一歩～不整脈治療のデバイス選択～」

講師：石巻赤十字病院 臨床工学技術課 二瓶 雄基 技士

16:40 終了

内容

今回の研修会は「苦手意識をなくそう！心電図の基本」をテーマに心電図の基礎から鑑別の仕方まで、最近心電図を始めた方や普段心電図にあまり触れない方などに向けた内容を企画し、開催された。また、臨床工学技士からペースメーカーの歴史について古くから使用されているものから最新デバイスについてお話しいただいた。

講演1では若手臨床検査技師から、実際の臨床で遭遇した鑑別に苦慮した症例を提示し、それに対して投票形式で参加者に答えを選択していただく形式で症例提示を行った。症例は緊急報告値やそれらと鑑別に迷うような症例、臨床でよく目にするが重要であるものを出題した。鑑別方法や他疾患での心電図所見、血液データを含めた問題が出題されており、これからの心電図判読に非常に役立つ内容であったと思う。

講演2では臨床工学技士からペースメーカーの歴史や最新デバイスについてご講演いただいた。最新デバイスではペーシングによる心不全リスクを考慮したモードやリード設置がなされており、ペースメーカー不全と正常動作を見分けることは難易度が高いと感じたが、検査技師としてペースメーカー不全の発見に尽力したいと感じた。